令和５年６月１９日

保護者様

横浜市立美しが丘西小学校
校長　近江　学

熱中症対策について

日頃より本校の教育活動にご協力いただきありがとうございます。

さて最近では、例年よりも早くに真夏日が観測されており、今後も暑い日が続くことが予想されます。まだ暑さに体が慣れていない中で、熱中症の発生が懸念されます。そこで、熱中症対策として、本校における取組と対策および、ご家庭での対応として、以下のようにお願いいたします。

学校での取り組みと対策

○　積極的な水分補給の呼びかけ。体育時は、全員必須の給水タイムの設定。
　屋外では、日陰で体温を下げながらの水分補給の実施。

○　WBGT（暑さ指数）２１℃以上の場合、屋内外に関わらず、体育の授業やクラブ活動、休み時間等の運動時は、マスクを外す声かけの推進。WBGT３１℃以上の場合は、原則運動の中止。

○　熱中症の症状が疑われる際には、学校保管の経口補水液の摂取。

○　熱中症の心配がある気候時において、登下校時のマスクを外す声かけの推進。

ご家庭での対応のお願い

○　十分な睡眠と食事（特に朝食）といった基本的な生活習慣を整えること。

○　登校前の健康観察。

また、学校における水分補給の扱いは以下のようにお願いします。

１　水筒の中身は、基本的には水かお茶とします。

※運動会や校外学習など、長時間の野外活動時には、塩分補給を目的としたスポーツドリンクや経口補水液も可とします。（ジュースや、炭酸飲料等は不可）

※平時における日常的なスポーツドリンクの摂取は、糖分過多やむし歯リスクの上昇などの危険性があります。また、学校医見解として「朝食や給食を摂っていれば通常の学校生活で塩分が足りなくなることは考えにくい」とのことです。

※スポーツドリンクや経口補水液の対応については、概ね運動会終了までの時期を目安にしてください。また、糖類が含まれている為、こぼしてしまった際には持ち物等がべたつく可能性がありますので、十分ご留意ください。

２　登下校中でも水分補給をしてもよいです。その際は立ち止まり、周囲の安全に気を付けてください。

３　水筒の中身が足りなくなった場合は、水道の蛇口から補充してください

４　長時間の野外活動時以外の平時（通常授業日）に、医師の指導や、家庭の判断で経口補水液やスポーツドリンクを持参する場合には、連絡帳等を通じて、担任にご連絡ください。